



## 「歯科医師の役割」

歯科医師石櫻会  
 会長 小山田 榮二

令和の時代となり、天皇の即位式も終わり、令和の新年を迎えました。新しい時代の幕開けに、歯科界に対する期待がふくらんでいます。

歯科保健が健康保持に寄与するというエビデンスが次々と明らかにされ、歯科医師の役割が大きくなっています。政府の掲げる「健康日本21」の中で、1次予防としての「歯・口腔の健康」が盛り込まれています。更に安倍総理の諮問機関の「未来投資会議」でも歯科健診の重要性を述べています。

歯をできるだけ失わず、また失っても義歯などで補うことで、患者さん達がより良く噛めるようになること、おいしく食事ができるようになることは、私達の働き甲斐でもあり大きな喜びでもあります。そのことを通じて、健康を回復・維持・増進すること、様々な病気の予防・軽減、入院期間の短縮などを通じて医療費の軽減、適正化に寄与することも期待されています。

臼歯の欠損で噛む能力は激減し、残存歯数が少ないほど嚥下能力は衰えます。自分の歯で噛める、義歯で噛めるほうが日常生活の範囲が広がります。

よく噛んで食べることが過食を防止し、肥満を予防します。がん予防にも食事が大切です。食事が一番必要なことはよく噛める健康な歯です。メタボリックシンドロームの起点に関わる歯科医療です。

歯周病の慢性炎症は、様々な病気の誘因になります。糖尿病、脳梗塞、心筋梗塞、早産、関節リュウマチ等々、関連が明らかになっています。

専門的口腔ケアによりインフルエンザの発症数を減らすことや、誤嚥性肺炎を予防します。更には手術後の回復を早め、入院日数も短縮します。

健康保険組合のデータによると、歯科健診を実施していない企業の医療費は自然増に伴い増加しているのに、歯科健診を実施している企業の医療費は横ばい又は減少していたと報告されています。また、他の研究では残存歯の多いほど医療費が少ないこと、認知症になりにくいことも報告されています。

患者さんの口腔状態を良好にすることで、体の健康につながり、幸せな生活を提供できます。患者さんに感謝してもらうことで、みんなが笑顔になります。歯科医師として、笑顔いっぱいの社会を作るお手伝いを楽しみましょう。

### 掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 令和元年度総会報告
- ・ 令和元年度講演会報告  
 講演 1 (新 39 回生)  
 上原 豊 先生  
 講演 2 (新 24 回生)  
 (岩手八幡宮宮司・  
 岩手県神社庁長)  
 藤原 隆 磨 氏
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



## 令和元年度総会・講演会・懇親会報告



令和元年6月8日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において令和元年度歯科医師石櫻会総会が28名の会員出席のもと開催された。総会は、小豆嶋正典副会長の開会の辞、小山田榮二会長挨拶の後、大久保卓也幹事の司会で渡辺充泰正会員が議長を務め、中野廣一幹事長より平成30年度会務報告、波紫修一幹事より名簿関係報告、村上修監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。令和2年度事業計画、会員名簿等について審議され原案通り可決承認された。つづいて、会長、監事の選挙が行われ、小山田榮二会長の再任および、村上修、小豆嶋正典両監事の就任(村上監事は再任)、ならびに中野廣一副会長、および西郷史郎幹事長の就任が承認され、村上修監事の閉会の辞にて総会を終了した。総会の後に座長を田中崇一、赤坂俊彦幹事が務め、上原豊先生の講演「私の補綴治療の考え方」、つづいて岩手八幡宮宮司・岩手県神社庁長、藤原隆麿氏(新24回生)の講演「盛岡八幡宮について」を拝聴した。

その後、熊谷哲也幹事の司会のもと会員懇親会に入り(31名参加)、小山田榮二会長挨拶、村井伸吾校長より来賓挨拶をいただき、横澤昭平顧問の乾杯で祝賀会に入った。続いて、高橋康介氏(県会議員立候補予定者)(新59回生)挨拶の後、今年度も神奈川から馳せ参じてくれた、笠原一臣、

志賀元一会員をはじめ、参加会員全員の近況報告が楽しく行われ、田中崇一幹事の音頭で岩手高校校歌、ラグビー応援歌を斉唱した。最後に亀田幸宏幹事の中締めで祝賀会を閉めた。その後、田中崇一幹事の計らいでディエスオーチャにて2次会が行われ、深夜まで歓談し、石櫻同窓ならではの絆を深めるひと時を過ごした。



会員懇親会



### 講演1

#### 『私の補綴治療の考え方』

上原 豊 先生 (新39回生)  
盛岡市開業

本講演では、自分の歯科医師としての原点であった岩手医科大学歯科補綴学第一講座で学んだ補綴学をどのように臨床に反映しているかを述べさせて頂きました。

一般的に補綴治療とは、歯冠崩壊や歯の喪失により生じた欠損形態の回復を図ることが目的とされていますが、私が田中久敏名誉教授から学んだことは、補綴治療とは、残存歯に対して妥当性のある侵襲を行うも、結果的には残存歯の保護と補綴装置の安定という二つの目的が得られてこそ治療が成立する。という教えでした。すなわち、補綴治療を施すことでの患者さんの残った歯をさらなる喪失から守るといった概念となります。残存歯保護という点では、補綴側のみならず、対合歯の性状と歯周組織の評価も重要となります。このため、補綴治療には、一口腔単位での視点が必要であり、補綴治療を必要とする局所においても、咬合支持域を一治療単位として考察するべきだと述べさせて頂きました。補綴学には、咬合支持域の評価法としてアイヒナーの分類がありますが、この分類法は、残存歯の咬合接触関係だけをみたものであり、支持領域にある歯の性状や歯周組織の評価をしたものではありません。このため、この分類に自分の評価基準を加えて補綴治療の指針を検討していることを述べさせて頂き、25年も前に受けた教育ではあるものの、

この概念は、現代のインプラント治療においても有用だと述べてさせて頂きました。

一方で、総義歯治療における妥当性のある侵襲とは、床下粘膜支持骨の経年的な骨吸収であると解釈しております。機能的に問題がある総義歯を使用した場合での顎堤吸収は加速的に進行することは周知の通りですが、残存歯の咬合支持もなく、顎間関係位も喪失、歯の分布状態も不明となった全部無歯顎においては、機能的な補綴再建そのものが術者の推測判断によるものだと思います。私が在職していた時代でも総義歯治療は名人芸、職人芸の領域のような扱いをされていた記憶があります。今となって思うのですが、田中先生の功績は、あの時代において総義歯治療をEBMに基づく補綴治療学であることを示したことにありと考えております。今回は、このような教えをもとに対応した補綴治療を数例発表させて頂きました。

今回、歯科医師石櫻会学術講演会の貴重な発表の場を中野先生から頂きましたこと、大変感謝しております。また、真摯な姿勢で講演内容を聞いてくださった歯科医師石櫻会の先生方におかれましても、改めて御礼申し上げます。



アイヒナーの咬合支持域に対合歯の評価を加える。

	対合歯の性状	歯の評価	C/R ratio	評価
VS インプラント	生活歯	A	1:3	A
	生活歯と失活歯の存在	A	1:3	A
		B	2:3	B
	失活歯	C	1:3	B
		C	2:3	C
	咬合不良	E		E



**講演 2**

**『盛岡八幡宮について』**

**藤原 隆磨 氏 (新 24 回生)**

盛岡八幡宮宮司・岩手県神社庁長

**【盛岡八幡宮の歴史】**

盛岡八幡宮は第15代応神天皇である品陀和氣命をお祀りする神社で、全国において「八幡」とつく神社が約2万社あると言われている。本宮は大分県宇佐市に鎮座する宇佐神宮であり、王城鎮護、勇武の神として崇敬を集めています。

歴史を紐解くと、前九年の役(1062年)に、陸奥鎮守府将軍源頼義・義家父子が、奥州安倍一族平定のため必勝武運を祈願し、山城国男山八幡大神(現在の京都府鎮座石清水八幡宮)を不來方丘陵の地(現在の盛岡城跡公園)に勧請したのが始まりと言われています。

延宝8年(1680年)、第29代南部重信公は、現盛岡八幡宮の場所に新八幡宮を建立。明治維新後、盛岡城はその主を失い陸軍省の所管となり、明治5年に新八幡宮に遷座されました。

明治17年の盛岡大火などの災害や永年の風雪被害を受けて社殿は再建が繰り返され、現在の社殿は平成9年12月に建て直されたものです。色鮮やかな彫刻の施された朱塗りの大社殿が盛岡の顔として堂々たる風格を漂わせています。県下一の大社として、また人々の生活に根差した信仰や祝い事の拠りどころとして、年間を通して多くの参拝者で賑わっています。

【神社における社会貢献活動】

**【神社における社会貢献活動】**

近年、企業がCSRといった経済活動を通じて社会課題解決をすべく活動が活発化している今日において、神社でも年間を通じて様々な事業等を展開しています。例えば、中高生のインターンシップ(企業体験)への協力や、児童福祉施設の子供たちを七五三詣に招待などを行っています。また、インバウンドの増加により神社でも日常的に海外の方々が多く参拝され、境内に様々な工夫を施し、参拝者や観光客に身近に神社を感じていただいています。

時代の変化が早い時代だからこそ、先人たちが今日まで紡いできた歴史を大切にすること、そして本質を見極めながら新たなアイデアを掛け合わせ神社の護持に努めていく必要があります。



**令和元年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・懇親会 参加者のご紹介**



3列左から：熊谷哲也、斎藤 海、関 克典、西郷史郎、金子 傑、波紫修一、高橋賢司、斎藤博樹、赤坂俊彦  
 2列左から：野舘孝之、道又 元、亀田幸宏、青木修治、志賀元一、大久保卓也、武田秀雄、岡村賢治、中野廣一、田中崇一、村上 修  
 前列左から：伊保内利一、米内 正、笠原一臣、上原 豊、藤原隆磨、小山田榮二、村井伸吾、横澤昭平、田中健一、渡辺充泰、小豆嶋正典(敬称略)

**石櫻トピックス**

年に1回開催される岩手県高校OB対抗ゴルフ大会をご存じでしょうか？我ら石櫻会も16人のサムライと称する先輩ゴルファーが大会を盛り上げているようです。同大会はTVでも放映されるので、若々しい石櫻戦士の姿をご覧になってみてはいかがでしょうか？ そのサムライの一人に新13回生齋藤富雄選手がおられ、県内でも有名なアマチュア選手です。

私は、齋藤氏が岩高卒業生であることも知らず、まったく偶然にゴルフの手ほどきを受けましたが、今は師匠と称し慕っております。個人的にですが、「あなたも石櫻ですか？」という不思議なご縁を感じております。様々な分野で活躍されている「石櫻男児」とのご縁をこれからも大切にしたいと感じ入っております。(上原 豊 記)

**役員名簿**

(任期：令和 2年 3月 31日現在)

- 会 長** 小山田榮二
- 副会長** 中野廣一
- 幹事長** 西郷史郎(広報兼任)
- 幹 事**
- 学術** 青木修治, 上原 豊
- 会計** 赤坂俊彦, 近藤 聡
- 庶務** 熊谷哲也, 大久保卓也, 内田良夫
- 名簿** 波紫修一, 高橋賢司
- 記録** 亀田幸宏 (ビデオ撮影, DVD/抄録作成)
- 広報** 関 克典, 西郷史郎, 田中崇一
- 地区** 道又 元, 佐々木正博
- 学内** 深澤雄飛 (学術と兼任)
- 顧問** 岡田宗二, 横澤昭平, 山田康平, 田中健一
- 監 事** 村上 修, 小豆嶋正典 (敬称略)

## 幹事会記録 (抜粋)

### 令和元年度第1回幹事会

日時：令和元年5月27日(月) [於：「若竹」]  
 出席者：小豆嶋正典副会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、関 克典、  
 亀田幸宏、上原 豊、熊谷哲也、波紫修一、西郷史郎、  
 高橋賢司、大久保卓也、岡田伸男、田中崇一の各幹事、  
 村上 修監事、田中健一顧問

(敬称略) (15名)

#### 1) 報告事項

(1) 熊谷庶務幹事より昨年度の事業報告：平成31年2月25日幹事会▼4月24日第11号会報、総会・講演会案内等発送(130件)

(2) 赤坂会計担当幹事より平成30年度の会計決算報告：

<収入>収入合計 603,010円(内訳：当日会費 6,000×23=138,000、  
 当日年会費 5,000×10=50,000、振替年会費 5,000×29=145,000、  
 振込年会費 5,000×30=150,000、雑収入 20,000、臨時セミナー会費 5,000×20=100,000)

<支出>支出合計 621,808円(内訳：総会費 221,334、講師謝礼 70,000、車代 20,000、資料作成費等 110,036、香典(7件) 35,000、  
 自動振替手数料 6,674、返金 15,000、臨時セミナー費 124,764、  
 臨時セミナー講師謝礼 30,000)

<収支> 過年度繰越金合計 1,081,211円  
 平成30年度繰越金▲18,798円  
 繰越金合計 1,062,413円

(3) 会員名簿報告：波紫修一会員名簿担当幹事より、昨年春に会員名簿を発行、2020年発行の会報12号に同封予定。

#### 2) 審議事項

(1) 令和元年度総会、講演会等に関する件

・6月8日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会を行う。講師は、上原 豊先生(新39回生)と藤原隆磨氏(盛岡八幡宮宮司・岩手県神社庁長)(新24回生)。

(2) 令和2年度総会、講演会等に関する件

・6月13日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会を行う。講師は、岡田伸男先生(新44回生)と竹田浩人先生(新33回生)。

(3) 令和3年度総会、講演会等に関する件

・6月12日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇親会を行う。講師は、熊谷哲也先生(新40回生)と熊谷章子先生(岩手医科大学法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 准教授)。

### 令和元年度第2回幹事会

日時：令和2年2月25日(火) [於：「花の屋」]  
 出席者：小山田榮二会長、中野廣一副会長、西郷史郎幹事長、赤坂俊彦、関 克典、青木修治、上原 豊、熊谷哲也、波紫修一、  
 岡田伸男、田中崇一、深澤雄飛の各幹事、村上 修、小豆嶋正典の両監事、田中健一顧問

(敬称略) (15名)

#### 1) 報告事項

(1) 中野副会長、西郷幹事長より今年度の事業報告：令和元年5月25日 令和元年度第1回幹事会開催。6月8日 令和元年度歯科医師石桜会総会、学術講演会(講師：上原 豊先生(新39回生)、藤原隆磨氏(新24回生)(盛岡八幡宮宮司、岩手県神社庁長))、  
 歯科医師石桜会懇親会(参加者数31名)(於：ホテルメトロポリタン盛岡本館)▼令和元年5月21日 赤坂俊彦先生(新30回生)ご母堂様ご逝去；御香典、8月21日 三田 透先生(新20回生)ご母堂様ご逝去、令和2年1月30日 桂 啓文先生(新14回生)ご逝去；御香典

(2) 赤坂会計担当幹事より平成元年度の会計決算中間報告：

<収入>収入合計 497,005円(内訳：当日会費 6,000×27=162,000、当日年会費 5,000×14=70,000、振込年会費 5,000×18=90,000、振替年会費 5,000×28=140,000、雑収入 10,000、卯城敏隆先生寄付(新44回生) 25,000、利息 5)

<支出>支出合計 425,399円(内訳：総会費 263,627、講師謝礼 70,000、車代 10,000、資料作成費・送料・雑費 64,234、慶弔費 10,000、自動振替手数料 7,538)

<収支>497,005円-425,399円=△71,606円

(3) 西郷広報担当幹事より、第12号会報の進捗状況等の報告：総会・講演会・懇親会案内、会員名簿等と4月初旬に会員へ発送予定。

(4) 上原学術担当幹事より、令和2年度講演会案内報告：令和2年度総会・講演会・懇親会案内の進捗状況等の報告。

(5) 波紫会員名簿幹事より、会員名簿報告：名簿の発行は4年毎とし、次回の発行は2022年を予定。

(6) その他

岡田学内幹事より、学内幹事の交代に関する報告：岩手医科大学歯学部退職に伴い、後任とし、深澤雄飛先生(新64回生)を指名、全員一致で承認。

#### 2) 審議事項

(1) 令和2年度総会、講演会は6月13日(土)夜5時よりH.メトロポリタン盛岡本館にて開催。講師は岡田伸男先生(新44回生)、竹田浩人先生(新33回生)

(2) 令和3年度総会、講演会は6月12日(土)開催。講師は熊谷哲也先生(新40回生)、外部講師：未定

(3) 令和4年度総会、講演会は6月11日(土)開催。講師は関克典先生(新34回生)、外部講師：小林琢也先生(岩手医科大学 補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野 教授)を予定。

## 事務局からのお知らせ

### ■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記口座へ5,000円のお振込をお願いいたします。銀行口座からの自動振替制度のご利用が便利です。事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手続きをよろしくお願いいたします。

■「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店(支店コード103)

(普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦

■「口座振替依頼書」のお手続きの間合せ・送付先

〒020-0016 盛岡市名須川町29-2 赤坂病院歯科

歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛

TEL: 019-624-1225 FAX: 019-623-1825

### ■ みなさまの声をお寄せ下さい

本会についてのご意見、ご要望、会員名簿のご訂正や名簿に掲載されていない岩手中高卒の歯科医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら事務局までお知らせください。

## 歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL / FAX: 019-632-1188

E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

## 編集後記

令和2年4月、診療報酬改定が行われます。良質な医療の提供には経営安定が絶対条件であり、医療保険の適切な運用、請求が必要となります。昨今、新病名、新技術の保険収載、医科歯科等の連係の充実も進行しつつあり、保険請求に必要な知識は増加してきておりますが、歯科界発展のためにも皆で前向きに考えていければと考えております。(西郷史郎 記)